



8月28日開催 市議会臨時会で可決

新型コロナウイルス感染症緊急対策アクションプランの関連予算などが可決されました。

プレミアム付商品券の販売

市内登録店舗で使える1万円分の商品券を7000円で販売。
15億1332万円

小中学校のオンライン学習実

施に必要な双方向通信環境を整備

通信環境が未整備の家庭に貸し出すモバイルルーターなどを購入。
4497万円

小中学校に消毒作業などを行うサポートスタップを配置

感染症拡大防止のため、消毒作業などを行うサポートスタップを1校につき1人配置。
1494万円

市議会9月定例会に提案

9月9日に開会した市議会9月定例会に提案した主な内容をお知らせします。

条例案件

北部大阪都市計画事業佐井寺西土地区画整理事業施行規程を定める条例の制定

土地区画整理法に基づき、佐井寺西土地区画整理事業の施行規程を定めるものです。

予算案件

北千里小学校跡地複合施設整備

同小学校跡地において整備を進めている公民館・図書館・児童館の3機能を合わせ持つ複合施設建設費。
4億2796万円

新型コロナウイルス感染症検査体制の促進

PCR検査促進のため、地域外来・検査センターの設置や検査体制の補助など。
5427万円

新型コロナウイルス感染症への対応に伴う検査委託料、検体回収センターへの補助など。
3億1732万円

新型コロナウイルス感染症緊急対策アクションプラン関連予算

新生児健やか子育て臨時給付金
令和2年4月28日～12月31日に市で生まれた新生児1人
150万円

公共交通事業者への支援

バス事業者の緊急事態宣言期間中の運行継続経費相当額、バス・タクシー事業者に車両1台につき感染症対策経費1万円を補助。
1億1378万円

就労継続支援事業所の生産活動を支援

収入が著しく減少している事業所に、障がい者による生産活動の継続・再起に向けて必要な経費を補助。
2919万円



コラムの音声版はこちら



市長コラム No.62

こもれび通り

メイシアター

後藤圭二

9月1日、長年みなさまに親しまれてきたメイシアターがすてきに生まれ変わりました。今回のリニューアルは、音響、照明、舞台装置など演者がより引き立つことを強く意識したもので、最新工法を用いた大仕事となりました。

生まれ変わった大ホールは、音楽ホールとして国内最高峰とうたわれるサントリーホールと同じクラスの響きを実現しました。オーケストラの演奏を楽しむためのホールもまた、ひとつの楽器としてお楽しみいただけたらと思います。ぜひ均質で豊かな音環境を実現させた音響反射板と天井の立体構造をご覧ください。

中ホールは、芝居小屋をイメージし、舞台と客席の位置を必要に応じて変えられる北大阪唯一の

可変構造(アダプタブル)となっています。

とはいえ、あくまでも主役は演者と演目の完成度です。みなさまを魅了するプログラムをお楽しみください。

客席は、座席前後のピッチを広げるとともに、快適な温度設定、理想的な換気を実現し、これまで以上に豊かなひとときを満喫していただける空間となっています。休憩時間に混雑しがちなトイレも明るく、十分な数を確保しています。そのほか、よみがえった動くモニュメントなど、「時代の変化に伴う成長」を遂げたメイシアター。このコロナ禍にオープンする意義を感じるとともに、これからも文化の拠点として、さらに愛されるホールとなることを願います。